

千葉県立現代産業科学館 「伝えたい千葉の産業技術 100選」について

千葉県立現代産業科学館

選定の趣旨

現状

本県産業を発展させた歴史的産業技術は数多くあるが、これらの技術は時代とともに記憶から薄れ、地域とのかかわりについても次世代に引き継ぐための資料が不足している。

目的

県内各地域で産業技術の歴史的経緯・役割がわかる資料集を作成し、県内の科学技術に関する興味・関心、地域の産業に関する理解に結び付ける。
小学校「地域の学習」 中学校「キャリア教育」



千葉高梁水糟
(千葉県水道局)

選定調査対象 (約560件)

経済産業省「近代化産業遺産」、国立科学博物館産業技術史資料情報センター「産業技術史資料、現代産業科学館「千葉県工業歴史資料調査報告書」(第1号～14号)、千葉県教育委員会「千葉県の産業・交通遺跡」を中心に選定。展示・運営協力会理事会で推薦のあったものについても、対象としている。

また、選定の地域を各教育事務所管内を基準とし、地域間のバランスを考慮して選定を行っている。

※展示・運営協力会

本館活動の充実・発展のために、館の趣旨に賛同する専門的知識を有する団体及び個人が、館の活動に対し支援及び助言を目的とした組織で、開館時に設立された。 現在97会員

伝えたい千葉の産業技術 100選

協力・連携

活用

選定の視点

- ①本県及び県内各地域で産業技術の発展に歴史的な役割を果たしたものの。
- ②次世代に継承していく上で重要な意義を持つもの。
- ③身近な産業・職業の様子やその変化がわかり、職業や仕事への関心・意欲を高めるもの。

選定までの流れ



選定状況

平成27年度 6件選定 平成28年度 8件選定

- ・選定された歴史的産業技術については台帳に登録するとともに、本館から登録証を交付。
- ・登録資料について本館ホームページで公開するとともに、概要を館内展示。
(今後の展開)
- ・資料集としてまとめ、教育事務所などに配付し、学校との連携を深化させる。